

## 9 地方創生支援に関する取組

地方公共団体等が抱える地域の課題やニーズに対して、財務局のツールやネットワークを活用して、地域活性化や地方創生に向けた支援を行っています。

# 地域課題の解決等のための連携プラットフォーム

北海道財務局北見出張所は、管内の金融機関等が連携してオホーツク地域の課題解決・事業者支援に取り組むため「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」を設置。

## 概要

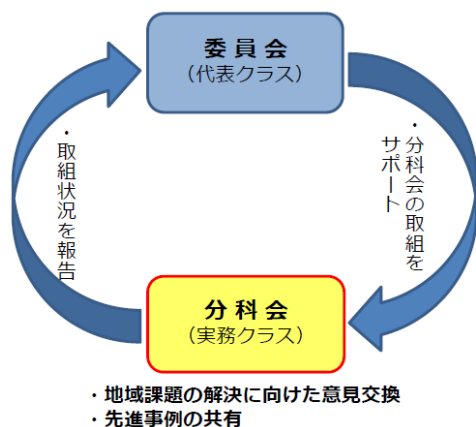
○金融仲介機能の質の向上を図り、地域課題の解決に向けて取り組んでいくため、**金融機関を中心とした体制・枠組みとして「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」**を設置。

○令和3年2月より、地域課題の1つである「**オホーツク地域の高付加価値化**」に向けて「分科会」を設け、金融機関等の**実務担当者による議論を積み重ねてきた**。



金融サービス向上委員会 分科会での議論の様子

## 【委員会の体制】



## 取組の成果

○令和4年6月、第1回委員会を開催し、議論の結果、「**ビジネスマッチングセミナーの開催**」と「**地域商社の設立に関する研究**」に取り組むこととなった。



金融サービス向上委員会 第1回委員会

○分科会の下にプロジェクトチーム（PT）を設け、議論を加速。令和5年5月には、**参加機関が連携して初の事業者向けセミナーを開催するほか、地域商社等へのヒアリングを実施するなど商社設立の研究に取り組んでいる**。

### 【ビジネスマッチングセミナーPT】

・参加機関が連携し、オホーツク管内の主要産業である食関連事業者向けに、地域ブランドを活かした販路拡大に関するセミナーを開催。

### 【地域商社PT】

・先行事例研究として、地域商社等4先へヒアリング実施

# 島しょ部の課題解決に向けた取組

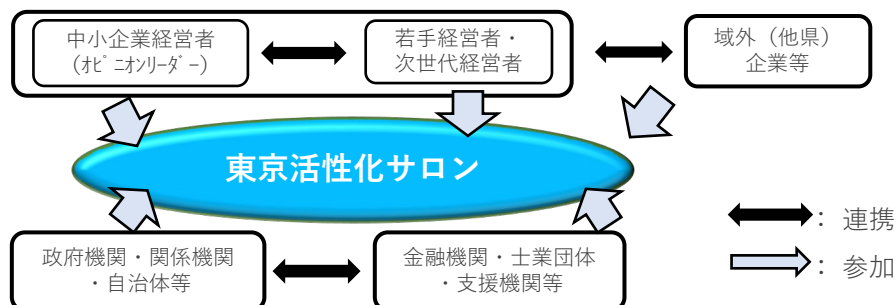
東京財務事務所が、島しょ部（八丈町）の関係者と有識者をつなぎ、課題解決に向けた「東京活性化サロンin八丈島」を開催。

## 概要

- 令和元年12月に八丈町役場や八丈島で地域活性化に取り組む関係者を訪問したことが発端。
- その後、八丈島では、主要産業の観光業が新型コロナウイルス感染症の影響で大きなダメージを受けたことを把握。
- 八丈島の地域課題解決に向けて、令和4年4月に「東京活性化サロンin八丈島」※を開催(八丈町商工会との共催)。

### ※東京活性化サロン

地域経済を活性化することを目的とした、中小企業・金融機関・士業団体・支援機関・自治体・政府関係機関等の異業種交流を支援するプラットフォーム。



## 取組の成果

- 当サロンでは、地元事業者が地域課題を説明し、これを受けた講演を有識者が実施。地域の関係者と有識者をつなぐことで、地域課題の解決に貢献。
- 参加者の声
  - ・地域、離島が抱える課題が改めて理解できた。
  - ・八丈島が持つ資源の多彩さと抱える課題を通じて、事業者、金融機関等の支援機関の取組の理解を深めることができた。
- 令和4年12月に八丈島を訪問。地域の関係者と有識者との間で、課題解決に向けた取組が進んでいることを確認。引き続き地域のつなぎ役として課題解決をサポート。



サロンの様子



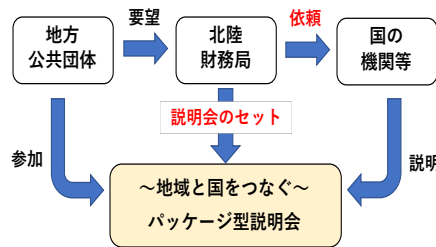
八丈島の風景

# 国の支援制度等に係るパッケージ型説明会

国の機関や政府系金融機関等に協力を依頼し、管内の地方公共団体等を対象に国の支援制度等をワンストップで説明するパッケージ型説明会を継続開催。参加者の効率的な情報収集に寄与。

## 概要

- 市町村長との意見交換等において、「国の補助金等に関する府省横断的な説明会の場があれば有益」等の声を受け、国の支援制度等に係る説明会を開催(平成30年度より毎年開催)。
- 地方公共団体等の効率的な情報収集に資するため、財務局のネットワークを活用して、国の機関等に協力を依頼。複数の国の機関等が一堂に会し、補助金等の新規施策や重点施策などを説明。**
- 令和2年度以降、完全オンラインでの開催により、新型コロナウイルス感染拡大防止、参加者の利便性向上、説明会の効率的な運営等を実現。
- 中小企業等の経営改善支援の重要性が増していることを踏まえ、**昨年度の税理士に続き、今年度は公認会計士も参加対象者に追加。**



説明会の様子

## 取組の成果

開催日：令和4年10月19日(水)、20日(木)

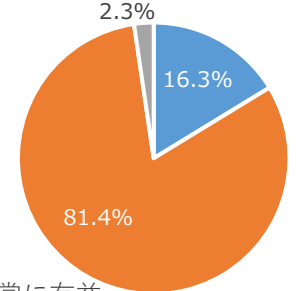
参加者：地方公共団体、地域金融機関、商工団体、税理士、公認会計士など約170名

説明者：中部地方環境事務所、北陸地方整備局、北陸信越運輸局、(説明順) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、北陸総合通信局、石川労働局、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、北陸財務局、日本政策金融公庫、(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)、(独)中小企業基盤整備機構、内閣府民間資金等活用事業推進室 計12機関

- 参加者からは「各府省の施策など有益な情報をまとめて聞くことができている」、「オンライン開催により時間、コスト面で効率的」等との声。

- 参加者への有益な情報提供による当局のプレゼンス向上のほか、外部機関とのネットワークの維持・拡大に繋がっている。

説明会満足度  
(アンケート結果より)



- 非常に有益
- まずまず有益
- あまり有益ではない



# 大阪・関西万博開催に向けた機運醸成の取組

大阪・関西万博について、開催に向けての機運が高まっていないとの課題を聴取し、取組を検討。取組の検討にあたり対象へアンケートを実施する等、内容の充実を図った。

## 概要

- 万博活用キックオフ・シンポジウム (R5.2.24)  
金融機関の万博への協力機運を醸成するため、万博に取り組むキーパーソンが一堂に集うシンポジウムを開催。
- 万博deじもと魅力発信セミナー (R5.3.20)  
自治体を対象にトークセッション・交流会等を通じて参加者の連携を図り、機運醸成につなげるセミナーを実施。
- 第3回関西交通ネットワーク大商談会 (R5.5.30)  
管内金融機関の取引先と高速道路SA・PAのテナント事業者の商談会を開催。商談会を通じて参加事業者の万博や金融機関に対する要望を聴取、今後の取組に繋げていく予定。

## 取組の成果

- 万博活用キックオフ・シンポジウム (R5.2.24)  
約60名が参加。パネルディスカッション等が出た意見、万博会場内外での取組、情報収集の方法等をまとめ、シンポジウム後に金融機関へ配付。



- 万博deじもと魅力発信セミナー (R5.3.20)  
現地、オンライン併せて約80名が参加。現地参加者のみを対象とした名刺交換会でも盛んに意見交換が行われた。

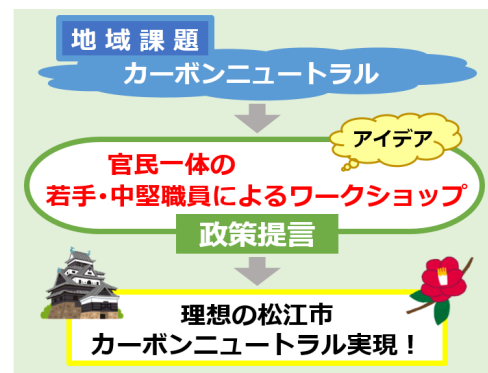


# 異業種交流型職員研修 「ACTION2050カーボンニュートラルMATSUE」

松江財務事務所では、2050年カーボンニュートラル実現に向け、自治体（松江市）のニーズに応えた形で地域課題解決等の支援の取組を進めている。

## 概要

- 松江財務事務所は、松江市と共催で、地元一般企業も交え、異業種交流型職員研修「ACTION2050カーボンニュートラルMATSUE」を実施。
- 官民の若手・中堅職員24名がカーボンニュートラルをテーマとして、地域課題解決のための政策を検討。
- 令和4年10月31日のキックオフイベントを皮切りに、計5回のワークショップを開催したほか、共感を呼ぶ政策とするため、有識者による講演やアドバイスを受ける機会を設けて、アイデアのブラッシュアップを重ねた。



## 取組の成果

- 令和4年12月27日に、**松江市長へ5つの政策提言を実施！**

- ①カーボンニュートラル×未来の公民館の在り方
- ②松江版Jクレジット ③大根島でエコツーリズム
- ④松江版MaaS ⑤クリーン電力の地産地消



- 当政策提言については、同市長の指示のもと、市の関係部署が事業化に向けて検討を開始。
- 松江財務事務所としては、市の検討状況やニーズを把握したうえで、財務局のネットワークをフルに活用し、今後も情報提供や関係先との連携等を通じて、松江市を始めとした地域のステークホルダーと関係を強化していく。



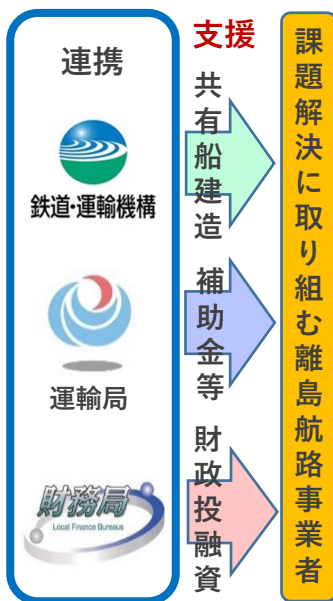
## 離島航路の維持・活性化に向けて

利用者の減少や高齢化など離島航路に関する課題の解決に取り組む離島航路事業者(地方公共団体及び民間企業)を支援するため、財務局、運輸局及び(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)が連携してWebセミナーを開催。

### 概要

○離島航路の利用者の減少・高齢化が進行している中、老朽船舶の更新が行われず、利用者数に比して過大な船舶や高齢者等へのバリアフリー化が図られていない船舶などが存在しており、離島航路維持にあたっての課題となっている。

○このような課題を有する離島航路事業者の取組を支援するため、長崎財務事務所を皮切りに、四国財務局、鹿児島財務事務所においてもWebセミナーを開催。JRTTからは技術面・資金面で船舶建造を支援する制度を、運輸局からは離島航路に関する補助金等を、財務局からは財政投融資をそれぞれ説明した。さらに、四国財務局では離島経済活性化をテーマに有識者による講演も実施した。



### 取組の成果

- セミナー開催後、参加した離島航路事業者からJRTTに老朽船舶更新についての相談が寄せられ、JRTTでは船舶建造の支援制度の活用を検討するなど、課題解決に向けた取組が進められている。
- 事後アンケートでは、「離島航路に関する補助制度やJRTTの支援制度、離島経済振興のためのヒントなどを知ることができ、有意義であった」との声や、「Webセミナーのため、離島からも容易に参加できたので今後もこうしたセミナーを開催して欲しい」といった声が寄せられた。



Webセミナーの様様



船舶共有建造制度を活用した離島航路旅客船「めおん(高松~女木島~男木島)」